

童謡詩人 金子みすゞ



金子みすゞ、本名テルは明治36年現長門市に生まれ、大正12年下関に移り住み上山文英堂で働きながら童謡を書き、雑誌に投稿を続けます。

わずか5年間の間に、万物へのやさしさを込めた512編もの作品を綴り、若き童謡詩人の巨星と注目されながら、夫の冷遇により体調を崩し26歳という短い人生を終えます。

みすゞの清廉な詩は、現代の人々の心に響き感動を拡げ続けています。

